

大分県座談会
2025

半導体関連産業を振興
モノづくり立県・大分

新生・シリコンアイランド九州——供給網活性化

「新生・シリコンアイランド九州」の発展に向けて、いよいよ半導体生産を通じたサプライチェーン（供給網）の活性化が動き出す。熊本県菊陽町に進出した半導体受託製造（ファウンドリー）の世界最大手、台湾積体電路製造（TSMC）の第1工場が2024年末に量産を開始した。第2工場は27年末の稼働を目指しており、その経済波及効果は域内外の投資活動意欲を高めている。大分県も半導体関連産業が集積、振興策に力を入れている。そこで今回、佐藤知事をはじめ九州の半導体関連産業をけん引する代表や識者などによる座談会を開き、意見交換してもらった。

大分県の産業集積と強み

まずは佐藤知事からモノづくり立県として大分県の現状を教えてください。

佐藤 本県の中核産業は半導体や精密機械、さらに自動車などです。素材産業が集積する臨海コンビナートがある大分市は、国による「2023年経済構造実態調査」製造業事業所調査」に基づき「市区町村別統計」から近年、北九州市を抜いて九州で一番の製造品出荷額を誇ります。

中でも半導体産業はテレビやスマートフォンといった日常品に限らず、次世代自動車など先端産業を支える重要な産業基盤です。大分市と中津市周辺には半導体製造装置や洗浄、研磨、テスト装置など関連企業が集積し、大分市内には大手半導体デバイスメーカーのソニーセミコンダクタマニュファクチャリングやファウンドリーのジャパンセミコンダクターの基幹工場がそれぞれ立地しています。

05年には全国に先駆けて産学官連携組織「大分県LSIクラスター形成推進会議」を創設。当初は44会員からスタートした組織も、現在は約3倍の133会員が参加して半導体関連産業を後押ししています。

最近では人工知能（AI）が注目されるように、半導体産業に新たなイノベーションが起きています。一方で半導体の安定供給が最重要課題となり、経済安全保障上の重要性が再認識されたことから、国際的にサプライチェーンの再構築が進んでいます。

こうした中で熊本県菊陽町にTSMCが進出しました。大分県庁からTSMCまで車を使うと2時間程度です。大分県から熊本県を結ぶ中九州横断道路が完成すると、両県の距離感はさらに近くなり、半導体産業を大きく発展させる好機ととらえています。

半導体産業の振興に向けた大分県の強みを教えてください。

山口 九州半導体・デジタルイノベーション協議会（SIIQ、シーク）の会長の立場からお話させていただきます。当協議会は半導体、エレクトロニクス関連産業の振興に取り組んでいます。TSMCの進出をきっかけに九州全体で多くの半導体関連投資が生まれ、新生・シリコンアイランド九州の機運が高まっています。そこで半導体のサプライチェーンを、入り口から出口までバリューチェーンととらえると、ポジティブな経済循環ができると思います。



佐藤 樹一郎氏

まず「市場」。半導体産業をけん引するテクノロジードライバーは、AIやクラウドなどデータセンターのような社会基盤となるデジタルサービスで、成長する先端ロジック半導体市場です。二つ目は「技術」。AIの法則に代表されるようにデザインルールの微細化が限界を迎えるなかで、複数の異種チップをつなぎ合わせる先端パッケージの3D化技術

地場企業にもチャンス到来
全国の関連組織と連携強化を
国際ビジネス人材育成に貢献

岡野氏
鈴木氏
米山氏

が重要になっていきます。三つ目は「地政学」。経済安全保障の問題から米国、台湾と日本が手を組みながら新しいバリューチェーンをつくる流れがあります。

大分県内にはジャパンセミコンダクターや半導体後工程請負業（OSA）の米国エムコー・テクノロジーが立地しています。さらにパッケージ、テスト事業など後工程を得意とする地場企業が集積しています。こうしたことから、先端パッケージ市場への地場企業の挑戦や、前工程と後工程が集積する技術の強みを結集し、デバイスを開く試作して事業化できる環境をつくれば面白いと思います。

鈴木 大分県LSIクラスター形成推進会議では企画委員長を務めています。「産学官」の連携が大分県の特徴であり、強みです。活動は会員の強みを生かし大分県が「品質・コスト・納期」で国際的

出席者	
大分県知事	佐藤 樹一郎氏
九州半導体・デジタルイノベーション協議会会長 （ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング社長）	山口 宜洋氏
九州経済調査協会 常務理事兼事業開発部長	岡野 秀之氏
立命館アジア太平洋大学 学長	米山 裕氏
大分県LSIクラスター形成推進会議企画委員長 （ススキ社長）	鈴木 清己氏
（司会） 日刊工業新聞社西部支社長 武田 則秋	

な競争力を有する生産拠点となるべく、①研究開発②人材育成③販路開拓④企業間交流などを進めています。

現在TSMCが注目されているのが、台湾との交流は以前から行っていました。11年に台湾電子設備協会と覚書（MOU）を結んで、日台双方で商談会を毎年2回開催しています。国内で行うときは熊本県とも連携して相互に開催しています。

また2年半前に九州経済産業局とシークで設立した九州全体の産学官連携組織「九州半導体人材育成等コンソーシアム」は、推進会議のメンバーが多く参加し、サプライチェーン強化ワーキンググループの座長を務めています。

全国各地で半導体のコンソーシアムが立ち上がっています。大分県のように総合的かつ活発に産学官で後押ししている例はありません。今後も各県、各地域のクラスターと連携強化して、引き続き半導体関連産業をけん引していきます。

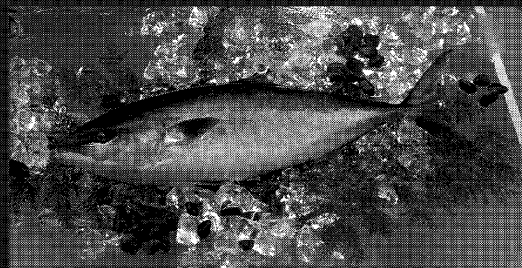
米山 立命館アジア太平洋大学（APU）は別府市にキャンパスを構え、現在世界111カ国・地域からの国際学生3084人と、国内学生3196人の計6280人が在籍しています。国内学生の多くも国際的な活躍を志向し、多文化環境のキャンパスにおける活動に加え、さまざまな課外活動のプログラムに参加します。キャンパス内の公用語は英語、日本語。その卒業生は母国語と外国語能力を生かして国内外の企業や公的機関で活躍し、日本企業の国際的な発展にも貢献する教育を行っています。

近年APUの学生に対する企業からの需要はマネジメント人材です。特にTSMCの進出により、台湾から来られた方々をターゲットとした学生ニーズが高まっています。今後APUが大分県の半導体産業の発展に大きなリソースとして貢献できると考えています。

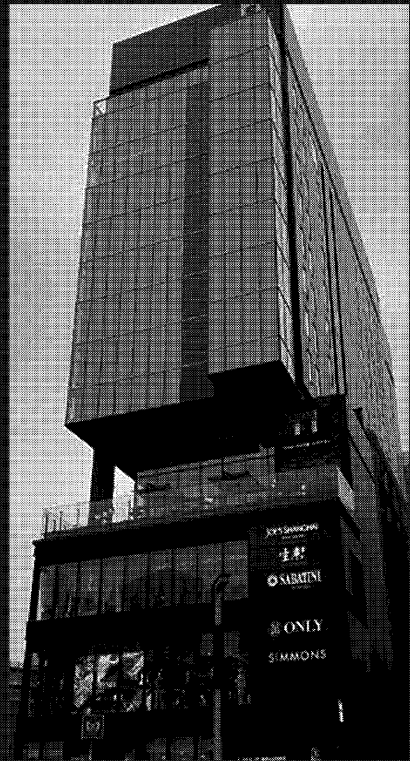
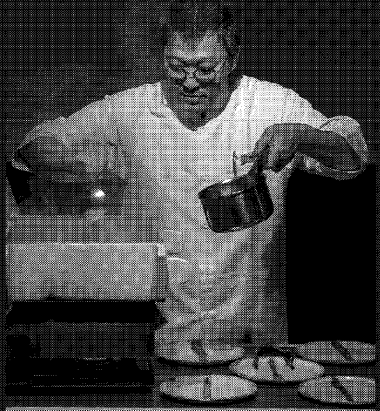


半導体関連産業の振興を誓った

（次ページに続く）



種類豊富な産地直送の食材で奏でる「和」のテイストをご堪能ください。



大分県公式アンテナショップ
坐来大分 (ZARAI OITA)
東京都千代田区有楽町 2丁目 2-3
ヒューリックスクエア東京 3F
坐来 HP
ランチ 11:30~14:00 (LO13:30)
ディナー 17:00~22:00 (LO21:30)
ギャラリー (物販) 11:30~22:00
定休日：土曜日・日曜日・祝日
年末年始、お盆
TEL 03-6264-6650
最寄り駅
・東京メトロ銀座線・日比谷線・丸の内線
「銀座駅」(出口C1)より、徒歩1分
・東京メトロ日比谷線・千代田線・都営地下鉄三田線
「日比谷駅」(出口A1)より、徒歩1分
・JR山手線・京浜東北線「有楽町」駅 銀座口徒歩3分



大分の豊かな海と山から届く四季折々の食材をふんだんに使った月替わりのコース料理をご準備しています。



お店のエントランスにあるギャラリーでは、大分県のこだわりの品々を厳選・販売しています。



開放感あふれるメインダイニング

坐来
ZARAI OITA

いながらにして
憶いを馳せ、
時を超えて
めぐり会う。

モノづくり立県・大分

投資を呼び込む課題や方策

—TSMCの進出以来九州では半導体関連の大型投資が続いています。九州全体の経済波及効果は2021-30年までの10年間で23兆円規模になるとの推計もあります。大分県内に関連投資を呼び込むための課題や方策について伺います。岡野常務理事から九州の概況を伺えますか。

岡野 21年に政府が示した「半導体・デジタル産業戦略」と半導体産業政策の重点化により九州では200件以上の投資が発生。投資額は6兆円を超えています。デバイス製造のみならず、装置や材料などの幅広い業種で大手企業の新増設が相次ぎ、研究開発拠点や人材育成拠点への投資も進んでいます。

九州・沖縄・山口の地銀13行の連携体「QIBAS（キューベス）」の情報からも、地場企業の100社程度で、1000億円超の投資を把握しています。投資先は主に装置関連の部材や物流関係、メンテナンス、廃棄物の処理関係といったサポーター産業などで、裏を返せばサプライチェーンやバリューチェーンがしっかり地域で構築されてきているといえます。課題は人材の確保と育成です。理系人材だけでなく文系でもいろいろな形で半導体産業にかかわれます。半導体のユーザー側になると社会課題解決に技術を活用できる人材が必要です。そうした点で九州は九州半導体人材育成等コンソーシアムをはじめ、大学や工業高等専門学校、工業高校などが、全国的に見ても積極的に人材育成に取り組んでいます。

一方で大分県の半導体産業をもっと高度化するには、やはりTSMCとの連携が必要です。さきほど大



岡野 秀之氏

の調査を進めています。それ以外の候補地は市町村が実施する調査や開発にかかる費用を、県が3年間限定で補助率や上限額を引き上げて集約的に支援し、産業用地整備を加速していきます。

鈴木 投資を呼び込むには半導体に見合いのある技術人材が地元にいることが不可欠です。大分県LSIパークなどの県内企業が次世代サービスなどに挑戦し、幅広い関係者との連携・情報交換に取り組んでいただきたいです。

またデバイス製造のみならず、装置・材料、設計・ツール、デジタルサービス・デジタル機器などユーザー企業の新しいビジネス創出に向けたイノベーションを後押しし、バリューチェーンの強化も大事です。半導体関連の投資について、大分県の現状はいかがですか。

佐藤 県内では22年以降大規模産業用地開発は喫緊の課題です。県内全域で調査を実施。83カ所、1102社の候補地を市町村が選定しました。大規模候補地には県が一括してインフラの状況や開発コストなど

人材の確保・育成 地域一丸で取り組み



鈴木 清己氏

このほか会員の企業研究、開発や災害などへの対応力、回復力も投資を呼び込む強みになります。推進会議では19年に

次代担う技術人材の育成推進

内外ビジネススクールと連携

台湾で企業誘致活動を初開催

鈴木氏

米山氏

佐藤氏

産業高度化へTSMCと連携を 岡野氏 供給網強化、九州全体で最適化を 山口氏

科学省の「大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業」にも採択。面大学で教育・研究・正課外活動など幅広い分野で連携しながらグローバル人材・技術人材を育成します。25年度は推進会議の会員企業にご協力いただいて、APUでマネジメントを学んでいる学生向けに「半導体国際ビジネス人材向け実践学習」というプログラムを行います。大学で半導体について基本的な知識を付けた後に、前工程や後工程、原材料、設計システムなどのさまざまな会社を訪問して現地学習させていただきます。

台湾でも台北・新竹・高雄の企業に訪問を計画しています。ますますグローバル化する日本の半導体産業に向けて、グローバル人材を育成するAPUが新たに貢献する道が開け、大学としても発展を期待しています。

「九州で製造拠点を持つ立場から、山口社長はいかがですか。

山口 当社は、大分県では大分市と国東市に工場があります。ソーセミコンダクタソリュシヨンスグループは「テクノロジーの力で人に感動を、社会に豊かさをもたらす」ことがミッションです。この達成には理系も文系も関係ありません。多様性のある人材を求めていますので、APUのポテンシャルに期待しています。

同時に工場自体もスマートファクトリー化が進み、求める人材も大きく様変わりしています。それに応じた教育体制も整えているところ。工場運営でもっとも重要な点は、工場を中心としたサプライチェーンの集積です。

ただ実現にはハードルが高いため、九州全体でサプライチェーンをつくる形が理想的だと考えています。半導体は経済規模が問われる産業です。大分県には部材や物流などメーカーが立地しています。九州全体を一つのマーケットとしてとらえ、逆に九州各所から技術を持った企業を大分に呼び込むこともできます。したがって九州全体で物事を考え、企業ごとに最適化を図り、地域課題は産学官が一体となって取り組むことを期待しています。

「災害時における相互協力に関する合意書」を取りまとめ、相互扶助で会員自らが援助を行うように努める体制を整えました。24年には岩手、三重県と協定を締結し災害時の応援体制をつくりました。

「グローバル人材の育成について、米山学長に伺います。」

米山 APUは世界のビジネススクールと連携しています。現在TSMCをはじめとした台湾の半導体企業の役員などを多く輩出している陽明交通大学と連携を進めており、半導体分野でのマネジメント人材の育成を進めています。

具体的にはAPUのビジネススクールで学ぶ学生・大学院生が一定期間、陽明交通大学に滞在します。陽明交通大学が持つTSMC認定のプログラムのうち、文系学生が受講できるコンテツを受講。半導体の基礎知識や工学を学ぶプログラム開発を進めています。

一方国内では九州工業大学と国際化を進めています。九工大との連携は文部

技術力で企業の課題を解決する！

設計・製作～メンテナンスまで
ワンストップで対応可能

制御盤の設計・製作
産業用自動化装置の設計・製作

AKSystem 株式会社AKシステム

〒879-5413 大分県由布市庄内町大龍1474番地
☎097-582-3311

SUZUKI CO., LTD.

株式会社スズキ
代表取締役 鈴木 清己

本社 / 大分営業所
〒870-0124
大分県大分市大字毛井818-1
TEL 097-520-1414
FAX 097-520-1223

【スズキ営業拠点】
大分営業所・東京営業所・中部営業所・岩手営業所・広島オフィス・熊本オフィス
【スズキ物流拠点】
大分市内3ヶ所・三重県四日市市・岩手県北上市・熊本県菊池郡菊陽町

鶴崎海陸運輸株式会社

代表取締役社長 疋田 功道

本社 〒870-0196 大分市大字三佐1000 ☎(097)521-6111

鶴崎海陸グループ

エスティケイテクノロジー株式会社 ナカノ建設工業株式会社
株式会社ホックス 西ノ洲環境株式会社
鶴海運輸株式会社 大分マリンサービス株式会社

技術開発力で地域・社会の未来に貢献します！

半導体製造を通して地球環境保全に寄与する

大分デバイステクノロジー株式会社
〒870-1203 大分県大分市大字野間1660番地
☎097-588-1153 https://www.odt.co.jp/

右記QRコードより
公式ウェブサイトをご
覧いただけます

ODT

人と社会の豊かな未来を創造する

モノづくりフェア
2025

つくるをつくる
～現場が世界を変える～

・会期・
2025 10/15(水)～17(金) 10:00～17:00
最終日は16:00まで

・会場・
マリンメッセ福岡 A館・B館

・主催・
日刊工業新聞社

先着順！
出展募集中！

申込締切 2025年6月30日(月)
募集小間に達し次第受付終了とさせていただきます

展示会のお問い合わせ
日刊工業新聞社
イベント事業部(西部)展示会事務局
☐ monoinfo@nikkan.tech
TEL 092-271-5715 (受付時間9:30～12:00、13:00～17:00)

25.6.30

世界を、
“Wa”で
いっぱい。

私たちは、かけがえない自然の恵みを麹と発酵の力で
“Wa”というたくさんの人の幸せへと変えていきます。
それは、和やかな時間の「和」であり、
語り合い絆を深める「話」。
人と人のつながりを生む「輪」。
故郷や環境をたいせつにする「環」。
世の中にワクワクをつくり出す「わっ!」です。
三和酒類は、自然や地域、お客さまへの感謝を忘れず、
人と人、人と自然との関係を豊かにしていきます。

三和酒類株式会社
https://www.sanwa-shurui.co.jp
〒879-0495 大分県宇佐市山本・虚空蔵寺丁
TEL.0978-(32)1431(代) FAX.0978-(33)3030

大分県座談会 2025

半導体関連産業を振興

世界からニーズのくみ上げを
岡野氏

オール九州でエコシステム構築
鈴木氏

リーダーシップの発揮を期待
山口氏

大分県、ならびに九州の半導体関連産業を、さらに発展させていくための、あるべき姿や提言をいただきます。

鈴木 半導体産業の振興を九州全体で考える際には、大分県の強みは何かをしっかりと考えることが大事だと思います。少子高齢化の進展により、今後九州全体の人口は、さらに減少していくことが予測されています。半導体産業を振興することで、その下支えができればと考えています。

九州は県境を越えた横の連携が非常に強い地域です。九州半導体人材育成等コンソーシアムは新生・シリコンアイランド九州の構築に向けて、産学官が一体となって人材の確保・育成に取り組まれます。サプライチェーンの強靱化は、九州半導体・デジタルインフレーション協議会（シーク）が中心的な役割を果たしています。まさに「オール九州」で、地域全体の効率と競争力を高めています。

またシークが推進するデジタル産業はバリューチェーンを構築するエコシステムの形成を目指しています。例えば各地域の道路網や大分港をはじめとする港湾・さらに空港などを有機的に連携させた効率的な物流インフラの構築に向けた検討を進めています。九州のどの地域に立地しても、また九州内どこから物流が流入しても、大分県内だけでなく、九州全域、さらには日本全域に自社製品をタイムリーに届ける体制づくりを考えています。

佐藤 鈴木社長から紹介いただいた大分港は九州の一番東側にあり瀬戸内海の結節点です。四国にも半導体関連企業は立地しています。将来九州と本州を結ぶルートに「豊予海峡ルート」が加われば関西や中国、四国地方との人流・物流が拡大します。同時に九州横断道路で熊本県までつながる「半導体の道」が

産業発展への提言 未来へつなぐイノベーション 重要



山口 宜洋氏

期生は40歳代半ばになっており、台湾経済界の中心で活躍する層も増えていいます。APUのこうしたネットワークを活用し半導体をはじめとした大分県の経済ともつながる機会を創っていくと考えています。

では、企業活動にとって大きなメリットになると思います。引き続き国や関係機関などへ働きかけていきます。

また人材育成については、これからは海外からエンジニアなどが増えてくると思います。インターナショナルスクールを整備し、一緒に、これらの教育の在り方を考える必要があります。一方で生活面を支えるコミュニティも大事です。本県は温泉観光地や豊かな自然、食も含めて住みやすい環境が特徴です。国内ではビジネスができる移住先としても選ばれており、余暇やレジャーを楽しむ環境があることを発信して国内外からの投資を呼び込みたいと思います。特に地元企業は人材不足だけでなく、もともとAPU学生の活躍の場もつくりたいです。

今後九州内外の半導体関連企業でAPU学生が活躍する姿が期待されます。

米山 APUの学生は日本でもっと学びたいと思っており、日本企業に就職を希望する学生が多いです。これまで情報量が多い東京の企業に就職するケースが見受けられましたが、就業体験とか企業訪問を経験して九州企業の魅力がわかれれば地元定着が進むのではないかと、思います。国際学生たちも九州・大分に対する愛着があります。半導体産業に注目が集まるこの機会に、ぜひ皆さんと連携して人材を育てていきたいと思っています。

またAPUでは2000年の開学以来、台湾から800人近い学生を受け入れています。08年には台湾校友会を設置。登録者数は約350人です。APUの1



米山 裕氏

期生は40歳代半ばになっており、台湾経済界の中心で活躍する層も増えていいます。APUのこうしたネットワークを活用し半導体をはじめとした大分県の経済ともつながる機会を創っていくと考えています。



将来に向けてさまざまな意見が交換された

あわせて地域に半導体産業が根付くのも一つのポイントです。

学生就職、地元企業へ定着を促進 米山氏 安心元気に暮らせる社会づくりを 佐藤氏

山口 鈴木社長にシークの活動を紹介いただき、改めてバリューチェーンを持続的にどう成長させていくかが一番大事だと思います。大分県LSIークラスター形成推進会議をモデルケースとして、各地でそういった半導体を中心とするクラスターを形成。そのネットワークで九州全体のグランドデザインを描ければいいと考えています。

佐藤 誰もが安心して元気に活躍して暮らせる社会づくりを目指しています。それはイノベーションが果たす役割が重要です。今後実用化に入る技術には、空飛ぶクルマや米国で実用化している無人タクシーなどがあります。コア技術は全て半導体だけに、これから世の中を変えていく半導体が、その役割を果たすため、自治体としても社会実装の場づくりに取り組まれます。近い将来、空飛ぶクルマが別府湾の上空を飛ぶ、大分市内を無人タクシーが走る社会を実現するため、今後もエコシステムの一員として責任を果たしていきたいです。

一本道はありがたうござい

イノベーションです。今後成長が期待できるマーケットだと思えますので、環境保全で広がる輪をエコシステムにつなげていきたいと思っています。

私たちは挑戦し続けます

DENKEN

株式会社デンケン

〒879-5501 大分県由布市挾間町鬼崎688-2
TEL:097-583-5535 FAX:097-583-5580

詳しくは当社HPを是非ご覧ください

デンケン 大分 検索

わたしたちが作るものは
新たな『未来』のカタチです

大分電子工業株式会社 <https://www.oitadensi.co.jp>

わたくしたちは大分県の発展が
うれしいと思う信用組合をめざします

大分県信用組合

けんしん は大分県の皆さまとともに歩み、
金融を通じて地域社会の発展に貢献します

<https://www.oita-kenshin.co.jp>

つなぐ。支える。
事業を地域を。

JFC 日本政策金融公庫

お客様の「伝える」をサポートします

佐伯コミュニケーションズ

【大分本社・東京・福岡】 <https://www.saiki.co.jp/>

創業 享保10年(1725)。江戸時代は、薬として使用されてきた「ミョウバン」を、明治時代からは、入浴剤「薬用 湯の花」の製造地として300年

300th ANNIVERSARY

別府の湯の花文化を、その先へ。

協理家 16代目当主 代表取締役 飯倉里美
大分県別府市明蓉温泉6組

みょうばん湯の里
MYOBAN YUNOSATO
BEPPU YUNOHANA
SINCE 1725

300th 記念サイト

社会へ、未来へ 夢へ。

精密スプリングをベースとした企業力で次代をきりひらくCHK

■事業内容 金属ばね設計・製造・販売(自動車分野、建材分野、電機分野、その他)

◆自動車分野 エンジン・トランスミッション、シャーシ、ブレーキ、ステアリング、内装・外装にいたるまで、重要部品・機能部品を問わず、高品質な「ばね」を提供しています。

◆建材分野 壁、屋根、屋根、水まわりなどの各分野で「ばね」の特性を活かした様々な品質の部材を提供しています。

■営業部門

- 総ばね部門
- 薄板ばね部門
- 熱処理・表面処理部門
- 金型設計・製作部門
- 生産技術部門
- 品質保証部門
- 研究開発部門

■営業品目

- 総ばね各種
- 薄板ばね
- プレス品各種
- 総組込ばね
- コイルドウェーブスプリング
- 輪ばね
- 皿ばね
- 建材金具
- NCターレットパンチ加工
- 精密平面研削加工
- 溶接加工
- コイルバネ加工
- フォーミング加工
- 各種プレス加工
- レーザー加工
- 表面処理各種

圧縮・引張コイルばね
Compression and Extension Springs

中央発条工業株式会社
CHK

本社 7877-8501 大分県日田市新治町5-3 TEL:0973-22-1112
本島営業所 7734-0024 大分県日田市仁保町2-5-3 TEL:0973-281-2834

ISO 9001:2015 JIS Q 14001 JIS Q 14002 JIS Q 14003

新規会員募集中!!

大分産業人クラブ

事務局：日刊工業新聞社 東九州支局内
〒870-0823
大分県大分市東大道1-8-28-803
TEL 097-578-9195
FAX 097-578-9196

CHK 中央発条工業株式会社

本社 7877-8501 大分県日田市新治町5-3 TEL:0973-22-1112
本島営業所 7734-0024 大分県日田市仁保町2-5-3 TEL:0973-281-2834

ISO 9001:2015 JIS Q 14001 JIS Q 14002 JIS Q 14003